

電動換気ファン及び、スイッチ・電池ユニット部取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
この製品を正しく使い、機能を充分生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書と、スノーゴーグル取扱説明書を併せてお読みください。
この説明書は読み終わった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書の絵表示と意味は次の通りです。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- ⚠ **警告**：記載事項をお守りいただかないと、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。
- ⚠ **注意**：記載事項をお守りいただかないと、軽傷を負うか、このユニットが破損する可能性のあることを示しています。
- Ⓞ おこなってはいけない事項を示しています。
- ① 守っていただくべき事項を示しています。

⚠ 警告

- Ⓞ ファンユニット内には、異物を絶対に入れないでください。
ファンの回転により、異物が弾き飛ばされる可能性があり非常に危険です。また、故障の原因になるばかりでなく性能が低下することがあります。
- Ⓞ 内部は精密な電子部品で構成されています。絶対に分解や改造をしないでください。故障の原因となり、本来の機能が損なわれます。

使用上の ⚠ 注意

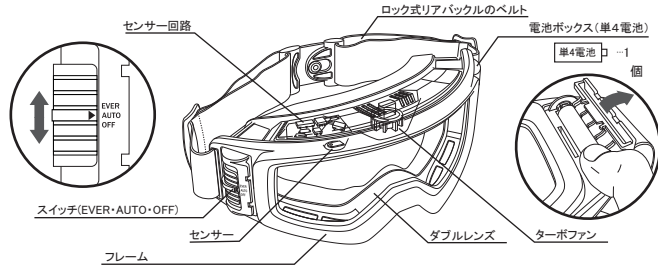
- Ⓞ 本品は構造的には強度の高い設計をしていますが、プラスチックを使用していますので強い衝撃を与えないでください。特にファンユニットには注意してください。
- ① ゲレンデなどの寒いところからロッジなど暖かいところへ本品を持ち込まれるときは、付着した雪、水滴などをそのまま放置しますとモーターなどの絶縁性能を低下させ、また故障の原因にもなります。
付着した雪や水滴などは、取り除いてください。
- ① 電池を交換する場合は、電極の極性(+-)を間違わないように十分注意してください。**逆極性の場合、センサー回路が動作しません、破壊の原因となります。**
- Ⓞ 本製品には、**単4型**アルカリ乾電池・オキシライド乾電池以外は使用しないでください。マンガン電池やリチウムイオン等の充電電池では、センサーの不動作、十分な排気性能が得られません。
- ① 長期保管する場合、電池は必ず電池ボックスから取り外して保管してください。
- ① 使用後は水分を十分に拭き取り、風通しの良い、直接日光の当たらない所に保管してください。水分は電池ボックスを傷め故障の原因になります。

仕 様

タイプ	TBS(センサー)
型 式	モーターファン付き防曇ゴーグル
防曇方式	遠心排気型ターボファン
曇り検出	結露センサー
自動・手動	切り替え可能
モーターファン 定格回転数	8000rpm±15%
消費電流	50mA
使用電池	アルカリ乾電池 単4 -1本 ※マンガン電池は使用しないでください。
連続使用時間 (当社テスト値)	約5時間(0°C EVER時) ※使用条件により変わります。

TBS センサーターボ 構造と特長

- TBマニュアルターボの機能に加え、ゴーグル内の湿度変化をセンサーで感知し、自動的にモーターをコントロールする、オートマチックターボファンゴーグルです。
スイッチをAUTOにセットしておくだけで後のスイッチ操作は不要です。



TBS センサーターボ 使用方法

- 通常の使用時は、スイッチをAUTOにしておいてください。センサー回路が湿度の上昇をキャッチし、自動的にターボファンの作動をコントロールします。
- 連続してターボファンを回したい時は、スイッチをEVERにしてください。ただしくもりが取れた後は、必ずスイッチをAUTOに戻してください。余分な電池の消耗を防ぎます。
- 使用しない時や明らかにゴーグルがくもらないと判断される時は、必ずスイッチをOFFにしてください。
- フレームサイドにあるフタを開け電池を交換してください。電池下部を指で押さえると簡単に電池が取り出せます。
- 電池ボックスのフタは確実に閉めてください。正しく閉まっていないと、電池が外れたり、内部の電極が破損したりする恐れがあります。

効果的な使用方法

- ゴーグル内のくもりは外気温が極端に低く、発汗が多いときに発生します。また、ゴーグル内の換気が悪いこともくもりの条件に加わります。発汗は運動後しばらく継続しますので、特に滑走停止後に発生することがあります。
- レンズがくもっていない場合でも、滑走後や滑走前などに20~30秒くらいスイッチを入れTBR(ターボファン)を作動させてください。こまめにTBR(ターボファン)を作動し、レンズ内の湿気を強制排気することで、レンズのくもりは発生しにくくなります。また、レンズがくもり始めたら、すぐにスイッチを入れTBR(ターボファン)を作動させてください。(くもりの状況により、くもりが取れるまでの時間は違います)
- 湿度の変化が急激でレンズ表面のくもりが水滴化してしまうとゴーグル内の湿度が下がっても、レンズ面に水滴が残ることがあります。この場合はやわらかい布で水滴を吸い取り、ご使用ください。(必要以上の連続使用は電池の消耗を早めます)
- ① 外気の温度が極端に高い場合はAUTO時ファンが誤作動をおこし回り続ける事があります。この場合において、くもりが発生した時、EVERにて除去し、OFFにしてファンを止めてください。
- ① センサーに水滴や雪が直接付着するとAUTO時には誤作動をおこしファンが回りつづけてしまうことがあります。スイッチをOFFにして十分乾燥させた上でご使用ください。このような場合 EVER、OFF でご使用ください。

調子が悪いときは、次の3点に注意してもう一度この説明書をご覧ください。

- 電池は新しいですか？
- 電極の極性(+-)は間違っていますか？
- スイッチは充分スライドしていますか？

お問い合わせや、万一故障した場合は、お買い上げのお店または、山本光学株式会社スポーツ営業部までご相談ください。

※ 製品に関するお問い合わせ

YK 山本光学株式会社

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8

URL <https://swans.co.jp>